



おとなのワクチン第5回 「風疹ワクチン」



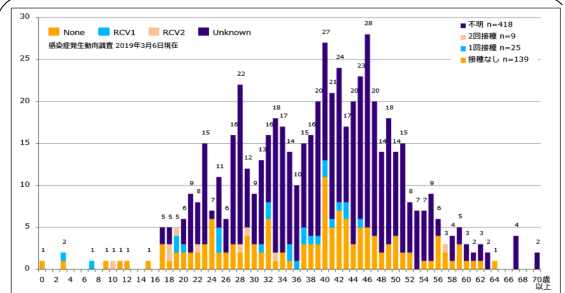
講師： 宮田 智仁 副院長

みなさんこんにちは。おとなのワクチン5回目は「風疹ワクチン」のお話です。

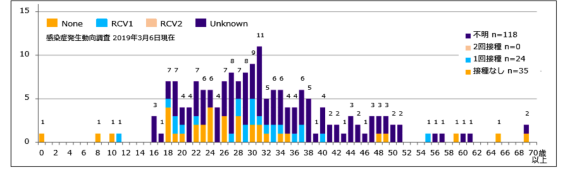
風疹と聞くと「子供の病気じゃないの?」という声が多く聞かれます。おとなのワクチンなの?という声も聞かれます。もちろん小児の頃に罹患する疾患ですが、最近日本では風疹に罹るのは大人なのです(図5-1、5-2)

なぜ大人が罹るのか?

なぜ大人が風疹に罹ってしまうようになったのか。それはワクチン接種の歴史と関係があります。風疹は風疹ワクチンを適切な時期に2回接種していると発症を予防することが出来ます。1962年4月生まれ以降の方から風疹ワクチンが定期接種となりましたが、当時は女性だけが対象ではありませんでした。1979年4月生まれ以降の方は男女とも対象となりました。また1990年2回接種となったのは1990年



5-1. 年齢群別接種歴別風しん累積報告数 (男性) 2019年 第1~9週 (n=591)



5-2. 年齢群別接種歴別風しん累積報告数 (女性) 2019年 第1~9週 (n=177)

ではありませんでした。1979年4月生まれ以降の方は男女とも対象となりました。また1990年2回接種となったのは1990年

比較的軽症な風疹でも妊婦さんの胎児に影響

風疹は、発熱・発疹・リンパ節腫脹を認める疾患ですが、比較的軽症で済むことが多い疾患です。ではなぜワクチンを薦め

4月生まれ以降の方です。つまり現在の子どもを含めた若い人は2回接種している。また今の高齢者が風疹に罹患しない理由は、ワクチンのない小児の頃に風疹に罹患しているため強い免疫を持っているからです。1962年~90年に生まれた方々は、ワクチン接種が徐々に広まったことで大流行が無くなり小児の頃に罹患せず大人になったのですが、ワクチン接種歴があっても1回接種のため十分な免疫力がつかずに大人になってしまった世代と言えます。

るのでしよう。それは「先天性風疹症候群」という病気があるからです。妊婦さんが風疹に罹患すると胎児に感染が波及して先天異常を持った子供が産まれてきます。

この政策については、政府には東京2020オリンピック・パラリンピックの期間に風疹が流行するのを避けたいという思惑がありました。海外からたくさん

未来の子どものためのワクチン2回接種を

今世界中ではコロナウイルス感染症が大流行となっており、そのためオリ・パラリンピックの開催が危ぶまれています。風疹はどこにかき消されてしまいうです。しかし風疹ワクチンはオリ・ピックの為にありません。これから生まれてくる子どもたちのために、今私たち「おとな」ができることをしなさいといけません。2回接種歴のない・不明な方はワクチン接種をしてください。特にこれから妊娠をする可能性のある女性・そしてそのパートナー・同居者は是非ワクチン接種をして欲しいと思っています。次回は、三重県でも流行のあった麻疹の話をしたいと思います。